

これくらいの量なら...

少しの量でも
ダメ!

ちよつとくらいは...

「階段等」への「物品」存置

絶対やめてっ!

少しの時間なら...

短時間でも
ダメ!

火災なんて起きない...

「物品」があると火災発生時にどうなるのか？

出火延焼
危険

放火の危険性が高まります。
火災が発生したときには避難経路を失ってしまいます。

避難障害

避難経路を塞がれると避難時にけがをする可能性があります。また、避難に時間がかかってしまいます。

防火戸等
閉鎖障害

火災が燃え広がり煙や有毒ガスが避難経路を覆ってしまいます。※火災後の防火戸を裏面で紹介します。



防火戸が閉まっていたら・・・助かっていた44名の「命」があります

平成13年9月1日に発生した「新宿歌舞伎町ビル火災」では44名の尊い命が失われました。ただし、この火災において階段の物品や防火戸の閉鎖障害がなければ全員が助かった可能性があったとのこと。

※以下は、実際の火災において、防火戸の効果を撮影したものです。



防火戸の「表側」を撮影したもの



防火戸の「裏側」を撮影したもの

火災に備えて・・・次の「3点」をご確認ください！

① 避難経路の状況確認

- 事前に入出口以外の逃げ道(窓や避難器具)を確認しておいてください。
※ 併せて、扉の開閉方法(内開き・外開き)についても従業員間で共有しておいてください。
- 階段や避難器具が使用できない場合も想定し、一時的に退避できるスペースがあるのか、ベランダ等からぶら下がり避難(2階に限る)ができる場所があるのかについて確認しておいてください。
- 火災の中で「空気ボンベ等」を背負った消防隊員が人命を救出するには、「何も物品がない」幅1mの階段でも非常に狭いです。そのため、少しの物品であっても、短時間であっても階段や出入口には決して物品を置かないでください。



② 避難の際は・・・

- 火災が発生して避難する際は、以下の行動を取ってください。
- 火事だ!!と周りに大声で知らせてください。
 - 逃げるときは濡らしたハンカチやタオルを鼻と口にあててください。
 - できるだけ低い姿勢で、煙の下の空気層に残っている新鮮な空気を吸うようにする。※息を止めずに浅めの呼吸を心掛けてください。



③ 避難できない場合・・・

出入口や階段が火災によって避難できない場合は、消防隊が到着するまでの間、以下の行動を取って居室内で待機してください。

- 近くの扉を閉鎖して煙の流入を抑制してください。
- 燃えている部分からできるだけ離れて姿勢を低くしてください。
- 携帯電話で連絡等ができる状況であれば、119番通報して場所を伝えてください。



お問い合わせは「高知市消防局予防課：088-871-7504」まで